

☆災害のあとの気持ちの変化☆

1 災害の前は問題のなかった人間関係も、災害のあとは次のように感じることもあります。

- 自分が相手から大切にされていないと感じてしまう
- 相手の気遣いは分かるが、かえって負担に感じてしまう
- 自分がしてあげたいと思うことが、子どもや家族にしてあげられないもどかしさを感じてしまう

2 子どもたちも災害によって傷ついています。子どもたちにも目をむけてください。

- 子どもたちの気持ちを聞いてあげましょう
- 子どもたちに自分の気持ちを説明してあげましょう
- 子どもたちがいきいきと活動できるように行事を組みましょう
- 災害ごっこの遊びや災害の絵をかいたりすることを禁じないようにしましょう

これからのことを通じて、子どもたちが災害という現実を子どもたちなりに理解し、それを乗り越えていくための手助けしてあげることが大切。